

ふくいの森林・林業の未来を切り拓く基本計画の全体像

目指す姿

令和5年9月に福井県独自の取組みとして打ち出した「Fukui Forest Design」を軸にした各種施策により、山の価値を最大化し、「稼げる林業」と「山村地域の活性化」を目指していく。

基本理念

地域を支える、稼げる林業

計画の全体像

森林のゾーニング（イメージ図）



1. 森林のゾーニング

人工林12万haを収益性と災害リスクを基にゾーニングし、資源の循環利用と環境保全に適した森林整備を推進

- ① 災害リスクの低い林業適地では、「大きな林業（ふくい型林業経営モデル）」による施業
- ② 人家裏などの非皆伐施業に適した地域では、「小さな林業（自伐型林業）」等による小規模・多間伐施業
- ③ 収益性の低い林業不適地では、公的整備による針広混交林へ誘導するなど、自然力を活用した施業

2. 施策の方向性

① Fukui Forest Design 推進プロジェクト

- 「主伐・再造林・保育など森林施業の低コスト化」と「原木の価値に応じた需要の創出」により循環型林業を行い、『稼げる林業』を実現。
- また、主伐の拡大や主伐後の再造林や保育を担う「人材の確保・育成」を推進

大きな林業（ふくい型林業経営モデル）

◆主伐等の低コスト化

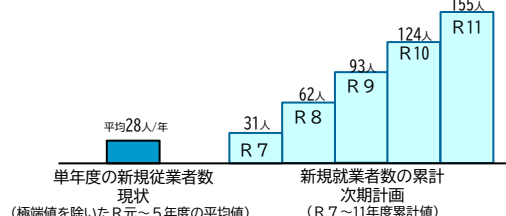
主伐地の集約化・土場の整備等によりコストを低減



ふくい型林業経営モデルのイメージ

◆人材の確保・育成

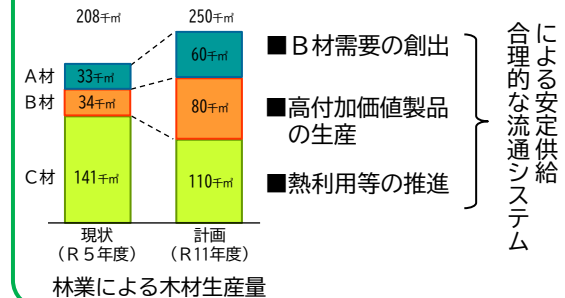
入職の促進、離職防止および林業カレッジにより林業従事者を確保・育成



新規就業者数の現状と計画

県産材の需要拡大

◆原木の価値に応じた需要の創出



林業による木材生産量

稼げる林業

- 簡易な機械で木材生産を行う自伐型林業と森林を活用したトレイルイベントやマウンテンバイクレースの開催など森林ビジネスの展開により『山村地域の活性化』を推進

小さな林業（自伐型林業と副業）



地域おこし協力隊の採用促進



自伐型林業大学校等への支援



森林所有者からのフィールド確保



森林を活用した半林半X

- ・ 自伐型林業の推進による移住・定住の促進
- ・ 自伐型林業団体の設立や既存団体で活動しやすい環境づくり
- ・ 自伐型林業の活動フィールドの確保
- ・ 稼げる半林半Xのモデルづくり

の活性化
山村地域

② 森を「守り」「活かし」「慈しむ」推進プロジェクト

- 災害等から暮らしを「守り」、特用林産物の生産や森林の体験・観光利用など森の恵みを最大限に「活かし」、県民一丸となって森を守り育て、次世代に引き継ぐ機運（「慈しむ」心）を醸成

災害
対策

- 山地防災力の強化に向けた治山事業等の推進
- 公益的機能を最大限に発揮する森づくりの推進

森林
ビジネス

- 特用林産物の生産振興および地域資源を活用した新たな森林ビジネスの展開

県民
運動

- 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の永続的な展開

ふくいの森林・林業の未来を切り拓く基本計画の概要

【基本理念】 地域を支える、稼げる林業

【計画期間】 令和7年度～令和11年度

【数値目標】 県産材生産量※1 (R5) : 239千m³ → (R11) 270千m³
(林業による木材生産量 : 208千m³ → 250千m³)
林業生産額※2 (R5) : 28億円 → (R11) 32億円

※1 : 公共工事等で発生した支障木を加算した総生産量
※2 : ※1の総生産額に特用林産生産額を加算した額

Fukui Forest Design 推進プロジェクト

I. 大きな林業（ふくい型林業経営モデル）の推進

1. 効率的な主伐・再造林・保育の推進

- (1) 主伐地の集約化によるふくい型林業経営モデルの展開
- (2) 県産種苗の安定供給体制の構築
- (3) ICT技術や新たな林業機械を活用した林業経営の効率化



新たな林業機械による効率的な木材搬出

2. 担い手の確保・育成の推進

- (1) 主伐・再造林等を担う人材の確保・育成
- (2) 雇用環境の改善および労働安全対策の強化

II. 小さな林業（自伐型林業と副業）の推進

- (1) 都市部からの移住・定住や自伐型林業団体設立等の促進
- (2) 稼げる半林半Xのモデルづくり



自伐型林業大学校の開校

III. 県産材の需要拡大

1. B材工場の誘致等による県産材の需要拡大

- (1) B材加工工場の誘致
- (2) 不燃材や防腐処理材などふくいの技を活かした高付加価値製品の生産
- (3) 意欲的な製材所等の連携による都市圏や海外での販路開拓
- (4) 公共・民間施設など非住宅分野での利用推進
- (5) 木質バイオマスの利用推進



B材工場（イメージ）

2. 製材所や工務店の需要に的確に対応できる流通体制の構築

- (1) ICT技術を活用した県産材の需給調整を統括するシステムの構築
- (2) 意欲ある製材所の育成



フクモクフェス

3. 県産材利用の理解を深めるふくいの木づかい運動の継続

- (1) ふくいの木づかい運動の展開
- (2) 企業を対象としたセミナー等の開催

森を「守り」「活かし」「慈しむ」推進プロジェクト

I. 山地防災力の強化に向けた治山事業等の推進

- (1) ICT技術を活用した森林土木工事の推進
- (2) 大規模災害への対応に向けた体制づくり
- (3) 防災・減災・国土強靱化に向けた事業の推進

III. 特用林産物の生産振興および地域資源を活用した新たな森林ビジネスの展開

- (1) 新規生産者の開拓と栽培技術・生産量の向上（香福茸）
- (2) 林業遺産や地域特産品の振興
- (3) 山村地域の資源を活用した新たな森林ビジネスの展開

II. 公益的機能を最大限に発揮する森づくりの推進

- (1) 県有林におけるJ-クレジットの創出
- (2) 獣害や病虫害に強い森づくりの強化

IV. 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の永続的な展開

- (1) 緑と花の県民運動の推進に加え「木を伐って使い、植えて育てる」機運を県全体に浸透
- (2) ふくいの自然や木の良さを伝え、触れ合える機会の創出



香福茸新規生産者向け研修会